

10月25日回は参議院神奈川県選出議員補欠選挙の投票日

### 全国植樹祭 参加者を募集します

平成22年5月23日(日)に、第61回全国植樹祭が開催されます。県では、当日、植樹などを行う参加者を募集します。

▷日程 平成22年5月23日(日)  
▷会場 足柄森林公園丸太の森地区(南足柄市)、秦野戸川公園地区(秦野市)

▷内容 記念植樹、お手植え行事、式典行事、サービス広場での物販・展示など  
▷対象 県内に在住、在勤、在学の個人または団体 ※18歳未満の方は引率者(成人)が必要。また6歳未満の参加は不可  
▷定員 約2000人(定員を超えた場合は抽選)。

※大会当日、お手植え会場、式典会場に入場できるのは、今回募集する参加者のみです。

■ 11月20日(日)までに、所定の申込書(県央地域県政情報コーナー、市政政策推進課等で配布)を、郵送またはファクスで〒231-8588横浜市中区日本大通1 第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会(=県環境農政部森林課内、☎045・210・4390、FAX045・210・8855)へ。

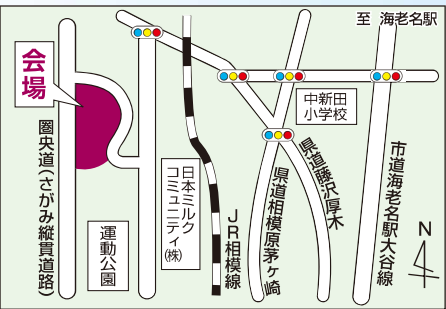
※ホームページ(<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sinrin/zensyoku/>)からも申し込みができます。

- ▽一般植樹(事前申込制)
- ▽記念植樹
- ▽かながわ環境大使・白井貴子ミニライブ(写真)
- ▽海老名インターチェンジ見学
- ▽海老名中学校吹奏楽部による記念演奏
- ▽第61回全国植樹祭開催

市内で、市民・企業・各種団体等の皆さんが植えた樹木の種類・本数などをお知らせください。樹木の大きさ・種類は問いません。平成20年4月1日以降に植樹した木本性植物(≡地上部が木質化する植物)であればすべて対象となります。植樹を行った方は、①氏

植樹情報をお寄せください

市では、緑あふれる「海老名」を目指し、市民一人一人に相当する12万5000本の植樹を行う「えびなの森創造事業」を進めています。同事業の推進イベントとして、昨年11月と今年5月に続き、第3回目の市民植樹祭を開催します。参加者へは苗木などのプレゼントのほか、芋煮鍋も振る舞います。環境に対する意識を深めるため、ぜひご参加ください。



### 11月3日 祝 えびなの森創造事業 第3回市民植樹祭を開催

PR

市では、緑あふれる「海老名」を目指し、市民一人一人に相当する12万5000本の植樹を行う「えびなの森創造事業」を進めています。同事業の推進イベントとして、昨年11月と今年5月に続き、第3回目の市民植樹祭を開催します。参加者へは苗木などのプレゼントのほか、芋煮鍋も振る舞います。環境に対する意識を深めるため、ぜひご参加ください。

【一般植樹定員】230人(定員を超えた場合は抽選)  
※一般植樹以外のイベントは当日参加可。  
■ 10月23日(日)までに、直接または電話・ファクスで、政策事業推進課へ。ホームページからも申し込み可。参加決定者には後日、案内通知を送付します。

名②住所③植えた日④樹木の種類⑤植えた本数⑥植えた場所(番地等)⑦メッセージ(可能であれば写真も)⑧市ホームページへの氏名掲載の可否を、電話またはファクスへお知らせください。「えびなの森の木」として登録後、「えびなの森の住民カード」を送付します。  
※収集した個人情報、本事業の目的以外には使用しません。  
■ 政策事業推進課(☎235・4635)。



9月上旬～10月初旬にかけて、海老名の秋の風物詩「かかしまつり」を今泉地区・中新田地区で開催。市民らが作ったユニークなかかしが、色づいた稲田の脇に並び、道行く人の目を楽しませました(写真左=今泉地区、同下=中新田地区)。



安全・安心に暮らせることは大切なこと。皆が心安らかに生活できる環境には、警察や消防が大きく貢献しています。常に市

編集後記

民の生活を見守っている警察や消防活動の一端を垣間見ることのできる安全・安心フェスティバル。ぜひご来場を。(Y)

### プレミアム商品券を発売



市内の消費拡大を目的に、海老名商工会議所が、1万円で2%お得な「海老名発元気出券プレミアム商品券」を発売。商品券引き換え日の9月12日には、多くの方が商品券を買い求めました。  
※商品券の販売は終了しました。なお、利用期間は12月31日までです。

### 秋の訪れを告げる「かかしまつり」

秋の全国交通安全運動(9月21日～30日)を前に、9月18日、市と海老名警察署などによるキャンペーンを実施。交通安全「なし」にかけて、ナシ約2000個を海老名駅前で手渡し、交通安全を呼び掛けました。



交通事故「なし」キャンペーンを実施